



## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月15日  
東

上場会社名 浜井産業株式会社 上場取引所  
 コード番号 6131 URL <https://www.hamai.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武藤 公明  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理担当 (氏名) 山畑 喜義 (TEL) 03-3491-0131  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 2023年6月30日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	6,916	6.8	604	14.6	584	14.6	641	12.3
2022年3月期	6,475	12.2	527	23.3	509	26.8	571	32.7

(注) 包括利益 2023年3月期 650百万円(26.3%) 2022年3月期 514百万円(△7.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	195.97	—	26.9	7.0	8.7
2022年3月期	171.94	—	29.7	7.0	8.1

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 一百万円 2022年3月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	9,218	2,680	29.1	819.11
2022年3月期	7,484	2,079	27.8	635.41

(参考) 自己資本 2023年3月期 2,680百万円 2022年3月期 2,079百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	521	△66	△666	1,189
2022年3月期	1,852	△39	△1,328	1,397

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00	49	8.7	2.6
2023年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00	81	12.8	3.4
2024年3月期(予想)	—	—	—	30.00	—	—	—	—

(注) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では第2四半期末日における配当予想額は未定であります。

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,500	36.2	390	26.2	385	42.1	290	6.5	88.60
通期	8,500	22.9	740	22.5	735	25.8	550	△14.3	168.04

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	3,462,400株	2022年3月期	3,462,400株
② 期末自己株式数	2023年3月期	189,405株	2022年3月期	189,192株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	3,273,080株	2022年3月期	3,321,442株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	6,884	7.3	620	40.0	606	39.8	664	29.9
2022年3月期	6,413	11.2	443	7.7	433	12.3	511	23.3
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期	202.87		—					
2022年3月期	153.93		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	9,106	2,599	28.5	794.20
2022年3月期	7,338	1,982	27.0	605.66

(参考) 自己資本 2023年3月期 2,599百万円 2022年3月期 1,982百万円

2. 2024年3月期の個別業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,490	34.7	380	29.4	285	△3.6	87.08
通期	8,480	23.2	725	19.5	540	△18.7	164.99

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の波はあったものの、年度後半にかけては人びとの行動や海外との往来などへの制限が大幅に緩和され、経済活動は正常化に向け緩やかな回復の兆しが見られました。一方で、世界的な金融引き締めによる金融不安や為替相場の乱高下に加え、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴う資源・エネルギー価格の高止まりや米中間の対立などにより、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

こうした状況の下、当社グループは引き続き、新規顧客の開拓や販売力の更なる強化、並びに生産性の向上に向けた生産改革に積極的に取り組み、部材の高騰を業務の効率化によって吸収する努力を続けてまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は6,916百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は604百万円（前年同期比14.6%増）、経常利益は584百万円（前年同期比14.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は641百万円（前年同期比12.3%増）となりました。

なお、セグメント別では、当社グループは、1工場で作業機械の製造を行い、販売するという単一事業を展開しております。

そこで、セグメント別の「工作機械事業」としては、上記のとおりですが、以下「機種別」に市場動向、販売状況等を補足させていただきます。

#### ①ラップ盤

国内外において、直径300ミリ半導体シリコンウエーハ加工用装置の売上が牽引しました。また、SiC（炭化ケイ素）をはじめとするパワー半導体ウエーハや光学関連部品の加工用装置の売上も寄与しました。自動車部品をはじめとする金属部品加工用ファインラインディンギングマシンの販売はやや伸び悩んだものの、売上高は3,334百万円（前年同期比26.3%増）となりました。

#### ②ホブ盤、フライス盤

ホブ盤では、国内外の釣具関連部品加工用装置の販売が堅調に推移しましたが、中国市場において、各種減速機や電動工具に使われる歯車加工用装置の売上が一時的に伸び悩みました。EV向歯車加工用の需要は増加傾向にあるものの、フライス盤の需要も伸び悩み、売上高はあわせて1,504百万円（前年同期比26.0%減）となりました。

#### ③部品、歯車

半導体シリコンウエーハ加工用の部品・消耗部品の販売が堅調に推移しました。ガラスハードディスク基板などの光学部品加工用の部品・消耗部品の販売はやや伸び悩んだものの、売上高は2,077百万円（前年同期比15.3%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は6,331百万円で、前連結会計年度末に比べ1,726百万円増加しております。主な増加要因は、棚卸資産の増加1,037百万円、受取手形及び売掛金、電子記録債権の増加791百万円であり、主な減少要因は、現金及び預金の減少208百万円であります。

#### (固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は2,886百万円で、前連結会計年度末に比べ8百万円増加しております。主な増加要因は、投資その他の資産の増加38百万円であり、主な減少要因は、有形固定資産の減少27百万円であります。

#### (流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は5,307百万円で、前連結会計年度末に比べ450百万円増加しております。主な増加要因は、前受金の増加1,109百万円、支払手形及び買掛金の増加624百万円であり、主な減少要因は、1年内返済予定の長期借入金の減少1,237百万円であります。

#### (固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は1,230百万円で、前連結会計年度末に比べ682百万円増加しております。長期借入金の増加707百万円が主な要因であります。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は2,680百万円で、前連結会計年度末に比べ601百万円増加しております。利益剰余金の増加592百万円が主な要因であります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ208百万円減少し、当連結会計年度末には、1,189百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における営業活動の結果得られた資金は521百万円(前年同期比71.8%減)となりました。

主な内訳は、前受金の増加額1,108百万円、仕入債務の増加額623百万円、税金等調整前当期純利益586百万円、棚卸資産の増加額1,113百万円、売上債権の増加額788百万円であります。

#### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における投資活動の結果支出した資金は66百万円(前年同期は39百万円の支出)となりました。

主な内訳は、有形固定資産の取得による支出63百万円であります。

#### ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における財務活動の結果支出した資金は666百万円(前年同期は1,328百万円の支出)となりました。

主な内訳は、借入金の返済によるものであります。

### (4) 今後の見通し

わが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限等が大幅に緩和され、経済活動は正常化に向け緩やかに回復の兆しが見られつつあるものの、世界経済は、金融引き締めによる金融不安や為替相場の乱高下、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴う資源・エネルギー価格の高止まりや米中間の対立などにより、景気の先行きに依然として不透明な状況が続いております。

次期(2024年3月期)につきましては、主力製品のラップ盤については、半導体シリコンウエーハ加工用やSiC(炭化ケイ素)をはじめとするパワー半導体ウエーハ、及び光学関連部品加工用、自動車部品をはじめとする金属部品加工用ファイングラインディングマシン等の拡販に引き続き、注力してまいります。

また、ホブ盤につきましても、新製品の新型ホブ盤を市場投入し、釣具関連部品、電動工具用歯車、各種減速機向歯車、及びEV向歯車加工用等の販売を一層強化してまいります。

以上により、次期(2024年3月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高8,500百万円、営業利益740百万円、経常利益735百万円、親会社株主に帰属する当期純利益550百万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、日本基準を採用しておりますが、今後の外国人持株比率の推移及び国内他社のIFRS(国際財務報告基準)採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討をすすめていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,397,661	1,189,325
受取手形及び売掛金	1,146,886	1,732,301
電子記録債権	231,598	437,422
商品及び製品	38,520	68,526
仕掛品	1,600,655	2,606,575
原材料	17,931	19,535
その他	172,626	278,301
流動資産合計	4,605,881	6,331,988
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,041,071	2,052,945
減価償却累計額	△1,602,634	△1,636,397
建物及び構築物(純額)	438,437	416,548
機械装置及び運搬具	1,818,207	1,800,579
減価償却累計額	△1,451,296	△1,504,170
機械装置及び運搬具(純額)	366,911	296,408
土地	1,389,338	1,389,338
建設仮勘定	35,579	105,111
その他	542,440	558,486
減価償却累計額	△485,803	△506,854
その他(純額)	56,636	51,632
有形固定資産合計	2,286,903	2,259,038
無形固定資産		
その他	11,470	8,784
無形固定資産合計	11,470	8,784
投資その他の資産		
投資有価証券	374,810	377,759
繰延税金資産	—	30,031
その他	220,307	225,938
貸倒引当金	△14,958	△14,958
投資その他の資産合計	580,159	618,771
固定資産合計	2,878,534	2,886,594
資産合計	7,484,415	9,218,582

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,056,408	2,680,698
短期借入金	159,713	72,000
1年内返済予定の長期借入金	1,408,150	170,237
未払法人税等	16,322	1,709
製品保証引当金	31,293	35,365
前受金	904,618	2,013,822
その他	280,636	333,499
流動負債合計	4,857,142	5,307,332
固定負債		
長期借入金	197,280	904,578
繰延税金負債	25,641	—
退職給付に係る負債	287,962	288,714
資産除去債務	34,395	34,851
その他	2,160	2,160
固定負債合計	547,440	1,230,305
負債合計	5,404,583	6,537,638
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	928,930	928,930
利益剰余金	1,070,207	1,662,549
自己株式	△230,564	△230,769
株主資本合計	1,868,573	2,460,710
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	198,942	200,735
繰延ヘッジ損益	—	464
為替換算調整勘定	12,316	19,033
その他の包括利益累計額合計	211,259	220,233
純資産合計	2,079,832	2,680,943
負債純資産合計	7,484,415	9,218,582

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	6,475,127	6,916,480
売上原価	5,191,628	5,425,802
売上総利益	1,283,499	1,490,677
販売費及び一般管理費		
販売手数料	34,294	97,971
荷造運搬費	87,957	103,831
役員報酬	107,400	117,386
従業員給料	164,437	171,272
従業員賞与	45,129	54,497
退職給付費用	6,934	11,860
減価償却費	44,172	39,922
研究開発費	8,649	6,762
その他	257,214	282,955
販売費及び一般管理費合計	756,189	886,459
営業利益	527,309	604,217
営業外収益		
受取利息	77	95
受取配当金	10,896	12,685
物品売却益	7,763	14,818
保険解約返戻金	3,990	5,044
不動産賃貸料	3,180	2,960
その他	4,015	6,347
営業外収益合計	29,923	41,952
営業外費用		
支払利息	27,084	19,963
支払手数料	8,184	32,498
為替差損	8,623	7,270
その他	3,551	2,009
営業外費用合計	47,443	61,742
経常利益	509,789	584,427
特別利益		
固定資産売却益	2,532	2,543
特別利益合計	2,532	2,543
特別損失		
固定資産除却損	63	0
特別損失合計	63	0
税金等調整前当期純利益	512,257	586,971
法人税、住民税及び事業税	19,432	2,035
法人税等調整額	△78,249	△56,504
法人税等合計	△58,817	△54,468
当期純利益	571,075	641,439
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	571,075	641,439



連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	571,075	641,439
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67,051	1,792
繰延ヘッジ損益	—	464
為替換算調整勘定	10,939	6,717
その他の包括利益合計	△56,112	8,974
包括利益	514,963	650,414
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	514,963	650,414
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	928,930	499,132	△30,401	1,497,661
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	571,075	—	571,075
自己株式の取得	—	—	—	△200,163	△200,163
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	571,075	△200,163	370,912
当期末残高	100,000	928,930	1,070,207	△230,564	1,868,573

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	265,994	1,376	267,371	1,765,032
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	571,075
自己株式の取得	—	—	—	△200,163
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△67,051	10,939	△56,112	△56,112
当期変動額合計	△67,051	10,939	△56,112	314,799
当期末残高	198,942	12,316	211,259	2,079,832

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	928,930	1,070,207	△230,564	1,868,573
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	△49,098	—	△49,098
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	641,439	—	641,439
自己株式の取得	—	—	—	△204	△204
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	592,341	△204	592,137
当期末残高	100,000	928,930	1,662,549	△230,769	2,460,710

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	198,942	—	12,316	211,259	2,079,832
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	—	—	△49,098
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	641,439
自己株式の取得	—	—	—	—	△204
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,792	464	6,717	8,974	8,974
当期変動額合計	1,792	464	6,717	8,974	601,111
当期末残高	200,735	464	19,033	220,233	2,680,943

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	512,257	586,971
減価償却費	153,337	139,718
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△10,334	4,071
受取利息及び受取配当金	△10,974	△12,780
支払利息	27,084	19,963
為替差損益 (△は益)	△236	2,386
支払手数料	8,184	32,498
固定資産売却損益 (△は益)	△2,532	△2,543
固定資産除却損	63	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△21,489	△788,846
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△8,483	△1,113,174
仕入債務の増減額 (△は減少)	663,768	623,763
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	15,575	△614
前受金の増減額 (△は減少)	529,467	1,108,857
その他	△8,093	△22,747
小計	1,847,597	577,525
利息及び配当金の受取額	10,974	12,780
利息の支払額	△27,145	△19,262
法人税等の支払額	△3,923	△19,067
法人税等の還付額	32,328	1,669
その他の支出	△7,069	△31,971
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,852,762	521,674
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△28,279	△63,562
有形固定資産の売却による収入	2,573	7,200
投資有価証券の取得による支出	△443	△566
その他	△13,845	△9,637
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,994	△66,566
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	50,000
短期借入金の返済による支出	△960,833	△137,713
長期借入れによる収入	—	840,000
長期借入金の返済による支出	△167,897	△1,370,614
配当金の支払額	—	△48,440
その他	△200,165	△205
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,328,895	△666,973
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,309	3,528
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	494,180	△208,336
現金及び現金同等物の期首残高	903,481	1,397,661
現金及び現金同等物の期末残高	1,397,661	1,189,325

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、単一の事業セグメントとしております。

これは、当社グループの製品及びサービスの製造、販売において、その製造過程や販売する市場、顧客もほぼ同じ種類であり、業種特有の規制環境も同一であることから、1つの事業セグメントとすることが、過去の業績を理解し、将来のキャッシュ・フローの予測を適切に評価でき、事業活動の内容及び経営環境に関して適切な情報を提供しうるからであります。

また、この報告セグメントは、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、栃木県足利市に唯一の生産のための工場を置き、その工場の生産設備を使って、工作機械を製造し、国内外に販売しております。

したがって、生産設備、資産を製品ごとに区分することは、適切でなく、「工作機械事業」という単一の報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

当社グループは、単一セグメントのため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

当社グループは、単一セグメントのため、記載を省略しております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

当社グループは、単一セグメントのため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

当社グループは、単一セグメントのため、記載を省略しております。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

当社グループは、単一セグメントのため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

当社グループは、単一セグメントのため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	635.41円	819.11円
1株当たり当期純利益	171.94円	195.97円

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。  
2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	571,075	641,439
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	571,075	641,439
普通株式の期中平均株式数(株)	3,321,442	3,273,080

- 3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	2,079,832	2,680,943
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,079,832	2,680,943
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	3,273,208	3,272,995

(重要な後発事象)

該当事項はありません。